

教科	美術	学年	第1学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
色彩の世界 ○ガイダンス ○色相環	17	色彩の多様性を知り色彩の性質や知識を身につけて活用できるようにする。	○色の名前、絵具の性質、を覚えることができる。 ○自分で考えて色彩を扱うことができる。	○画面全体を類似色相や同一色相の配色でまとめることができる。	○美術の創造的活動の喜びを味わい色彩を主体的に扱い、取り組もうとしている。 ○美術の創造的活動の喜びを味わい、自分の画面を積極的に美しいものにしようとしている。
木彫 ○ラック	20	彫刻刀の技法を知り、作品制作に活かし、生活にいかせるデザインとして構成していくことができる。	○適切な道具を使い、彫り方の技法を覚えることができる。 ○安全に道具を扱い美しく彫ることができる。 ○表現の技法を知り、新しい素材や活用方法を知ることができる。	○彫り方の特徴を踏まえ美しい作品を作ることができる。 ○生活に活かすことを考えてデザインすることができる。	○美術の創造的活動の喜びを味わい道具を主体的に扱い、取り組もうとしている。 ○美術の創造的活動の喜びを味わい、自分の作品を積極的に美しいものにしようとしている。 ○多様な作品を鑑賞し、美しさや楽しさを味わうことができる。
新しい表現 ○モダンテクニック ○鑑賞 ○レタリング	8	レタリングやモダンテクニックの技術を身につけ、画面構成に活用できるようにする。 モダンテクニックを利用した作品鑑賞し、作品制作の多様性を感じ、味わえるようになる。	○文字の形や点画の形を観察し、正しい形を覚えることができる。 ○表現の技法を知り、新しい素材や活用方法を知ることができる。	○正しい方法でレタリングをすることができる。 ○レタリングの文字や文字の一部を画面に構成することができる。	○美術の創造的活動の喜びを味わい色彩を主体的に扱い、取り組もうとしている。 ○美術の創造的活動の喜びを味わい、自分の画面を積極的に美しいものにしようとしている。 ○多様な作品を鑑賞し、美しさや楽しさを味わうことができる。

教科	美術	学年	第2学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
さまざまな表現 ○透視図法 ○作図	17	透視図法や等角図、投影図法を知り、画面構成に活用することができる。	○道具を扱い、透視図法、等角図、投影図法を使って作図することができる。 ○作図を行い視覚的効果を知ることができる。	○線を重ねることにことよって作図した図形等を立体的に表現することができる。	○美術の創造的活動の喜びを味わい色彩を主体的に扱い、取り組もうとしている。 ○美術の創造的活動の喜びを味わい、自分の画面を積極的に美しいものにしようとしている。
西洋の美術 ○抽象画	10	西洋の美術表現や技法をしり、その作品の良さを味わうことができる。	○抽象画の表現を知り、その特性を楽しむことができる。 ○形態と色彩の表現技法を知ることができる。 ○西洋美術の歴史を知ることができる。	○表したいモチーフを抽象画の表現技法で表現することができる。 ○表現された抽象画を形態だけでなくどのような技法が使われたのかを考えることができる。	○美術の創造的活動の喜びを味わい色彩を主体的に扱い、取り組もうとしている。 ○美術の創造的活動の喜びを味わい、自分の画面を積極的に美しいものにしようとしている。
スクラッチBOX ○ボックスの制作 ○鑑賞 ○レタリング	8	スクラッチの技法を知り、作品制作に活かし、生活にいかせるデザインとして構成していくことができる。	○適切な道具を使い、彫り方の技法を覚えることができる。 ○安全に道具を扱い美しく彫ることができる。 ○表現の技法を知り、新しい素材や活用方法を知ることができる。	○彫り方の特徴を踏まえ美しい作品を作ることができる。 ○生活に活かすことを考えてデザインすることができる。	○美術の創造的活動の喜びを味わい色彩を主体的に扱い、取り組もうとしている。 ○美術の創造的活動の喜びを味わい、自分の画面を積極的に美しいものにしようとしている。 ○多様な作品を鑑賞し、美しさや楽しさを味わうことができる。

教科	美術	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
立体感のある表現 ○平面構成	20	透視図法や等角図、投影図法を知り、画面構成に活用することができる。自分の表現したい世界観を透視図法を用いて表現することができる。	○視覚的効果を考えて画面構成し自分の世界を表現することができる。 ○自分の世界を立体的表現で表すことができる。	○色彩理論や作図を効果的に使い、画面構成することができる。 ○画面構成に自分の世界観を表現することができる。	○美術の創造的活動の喜びを味わい色彩を主体的に扱い、取り組もうとしている。 ○美術の創造的活動の喜びを味わい、自分の画面を積極的に美しいものにしようとしている。
伝統工芸 ○螺鈿皿	12	青貝粉やグリッターを扱い、素材の触感や楽しさを味わうことができる。独創的な構成で日本文様をデザインすることができる。	○螺鈿の表現技法を知ることができる。 ○日本文様の歴史を知ることができる。	○自分のオリジナルの日本文様でデザインすることができる。 ○デザインを考えて彩色をすることができる。	○美術の創造的活動の喜びを味わい色彩を主体的に扱い、取り組もうとしている。 ○美術の創造的活動の喜びを味わい、自分の作品を積極的に美しいものにしようとしている。
日本の美術 ○鑑賞	3	日本の仏像や建築などを知り、西洋との違いや日本独自の技法や美しさを学ぶことができる。	○仏像や建築物の特徴や美しさを味わうことができる。	○身近な建造物や伝統的な建造物、双方の良さや特徴を知ることができる。	○多様な作品を鑑賞し、美しさや楽しさを味わうことができる。